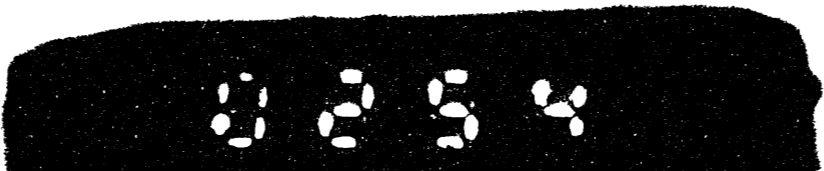


十
三

研-0613



19.3.2
大東亞大臣

張大經普通第三七三號

昭和十九年二月十二日

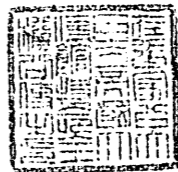
在張家口大日本帝國大使館事務所長

特命全權公使 岩崎 氏 男

大東亞大臣 青木 一 男 殿

蒙疆甘草工業股份有限公司增資（七拾五萬圓增資）
參拾七萬五千圓拂込一認可申請ニ關スル件

第 279 号
19.3.2
大東亞大臣事務所



興亞院蒙疆連絡部

百題ノ件ニ關シ別紙寫ノ通蒙古政府ヲ油シ申請有之仍而審議スルニ本社
ハ從來資本金貳拾五萬圓（全額拂込済）ヲ以テ甘草エキスヲ製造シ内地
蒙疆並華北等ニ供給シ來レルモノナルガ主原料タル甘草ノ値上リハ流動
資金ノ著シキ不足ヲ將來シ隨時借入金ニ依ツテ辛ウジテ之ガ急場ヲ俊キ

興亞院蒙疆連絡部

來リタルモ今年度甘草收買量ハ年度頭初ニ樹テタル予定計壹五五〇屯
ノ七割強四一八屯ニ止マルノ已ムナキニ至リ而モ十九年度ニ於テハ内
地ヨリノ需要増ニ應ヘテ工場ノ擴張ヲ計リ以テ甘草六〇〇屯ノ處理ヲ
計畫シ居ル状態ニシテ之ガ事業費ヲ賄ヒ且ツ流動資金ノ不足ヲ補ハン
ガ爲メニハ必要已ムヲ得ザルモノト彼認シテ、
ニ付テハ右御承認ノ上内地資金參拾七萬五千圓導入ニ關シ何分ノ御
旋相煩度

尙右資金ハ十八年度蒙疆内地資金期待計畫雜産柔ノ枠内ニテ賄フモ
ノナルニ付爲念

記

一、資金繰不足高（但此ノ内一部ハ借入ニテ賄フモノトス）
手持原料甘草ノ増加 三六五千圓
十八、十九年度事業費 二七九千圓
計 六四四千圓

（添附書類 昭和十八、九年度資金表）



成紀七三九年一月八日

張家
蒙疆甘草業股份有限公司
胡同一八號
林 大作

蒙古聯合自治政府

經濟部長 吉爾嘎朗 啟

蒙疆甘草業股份有限公司資本金増資申請函不件
成紀七三六年十月資本金蒙幣貳拾五萬圓の内半額拂込拾貳萬
五仟圓ヲ以テ創立セラレタル本公司ハ創業以來約六年即チ事
業年度第一期成紀七三六年十月及第二期成紀七三七年四月、大半ヲ工
場建設及製造設備多ク費シ成紀七三七年九月事業目的タル甘
草ヲ製造年産五十万封度ヲ標準トスル製造設備ノ完
成ヲ終リ爾后本格的な事業ニ着手セリ次テ成紀七三八年頭初頃

ヨリ製造供給先タル日本朝鮮等北等ヨリノ要望數次第二高ヨリ
公司トシテ之等需要ニ應ジニ力ヲ盡シハ製造設備ノ擴張原料收
買能力ノ強化ヲ測ルル必要アリ之等ニ要スル資金調達方法トシテ
差当リ現地ニ於ケル傍系会社又ハ株式會社ヨリ蒙幣拾萬圓ノ
借入ヲナスト共ニ自己資本ノ強化補充ヲ計ル目的ヨリ未拂込資
本金ノ徵收ヲ企圖シ成紀七三八年三月監督官廳ノ許可ヲ得テ
未拂込株金拾貳萬五仟圓拂込ヲ完了セリ。
而テ成紀七三八年四月以降第三期事業ニ入りテハ大要點如
キ計畫ニ基キ事業開始セルモ諸種ノ障害時ニ資金難ク多ク
營業部門ニ於テハ予定計畫ニ從ヒ順調ナル進捗發展ヲ遂
ガタルニモ拘ラズ計畫ニ基ク約七五%程度ノ成績ニ止レリ。
之實ニ資本金難ク時ニ自己資本ノ貧弱ニ依ル流動不能ノ結
果招来セル支障ニシテ既拂込資本貳拾五萬圓ガ製造設備
擴張ノ大半固定セラレ止テテ所要運轉資金ノ大部ヲ借入
金ニ依リ補ヒタル結果ニ外ナラズ

就中借入金蒙幣七拾余万円、借入先タル又
株式會社ノ交易商社ナルタル長期ニ互ル借入不可能ニ
シテ、必要ノ都度借入レ製品販賣ニ依リ多少トモ資金ニ余
裕ヲ生シタル場合ト雖モ直ニ之ヲ返済ニ充テスルコト言フガ如ク
常ニ手持資金ノ不足状態ヲ持續シ来レリ特ニ原料收買ニ
當リテハ、所要ノ資金調達ガ意ノ如ク涉ラズ一割ヲ半ヲ
緊急不可敷ノ原料收買時ニ際シ之ニ要スル資金調達
ガ常ニ遲レ勝テトナリテ遺憾ナラ好機ヲ逸シタルコトモ屢
々アリタリ。

如文昨下半年期(自十月三十一日)ニ入ル頃ヨリ資金借入先タル又株式會社ガ當時施行セラレタル物資調整法ノタメ該社自体ニ
度ノ資金難ニ陥リ間断ナク借入金返済ヲ強要シ来レリ
以テ致任ヲナク他ニ資金調達策ヲ講ゼリ即チ在内地ノ
株式運帶保証ニ依リ横濱正金銀行ヨリ所要資金ノ借入
シヲサントセシモ現地ニ可然担保物件ナキタリ、今行大阪支店

ニ之ニ代ルキ見返リ担保ヲ設定シ該行張家口支店ヨリ蒙幣
參拾五万円ノ借入レヲナセリ。

之ヲ以テ直ニ又株式會社ヨリノ借入金上肩替リセルモ尚參拾余
万円ノ借越ヲ有スル状態ナリ。依テ全カヲ擧ゲテ資金ノ急速回
ヲ計ルベク原料製品化ニ奔走シ之ニヨリテ得ル販賣收入ヲ以テ
所要運轉資金及ビ借入金返済ニ充當シ、現在ニ至レリ。

前述ノ如キ状況ニ在ル時、公司製品ノ需要先日本華北ニ於
ケル要望ハ漸次増加ノ途ヲ辿リ、實ニ公司現生産能力ノ二倍
ヲ凌駕スルニ至リ。特ニ主要供給先タル日本内地ニ於テハ甘草
ノ拂込甚シク從来近ノ主要供給先タル滿洲國ヨリスル原料甘
草ノ輸入殆ド絶エ擧ケテ蒙疆(北支各由)依存トナリ、本公司ノ
生産ニ俟ツ以外他ニ方法ナキ有様トナリ(蒙疆産出北支各
由内地向ケ甘草中、本公司製品ヲ除ク外ハ悉ク藥用トシテ日本生藥
會社ニ入貨ナレ、工業食品用甘草ハ製原料草トシテ本公司
供給セルモノニシテ、交易言圍全由日本調味料用甘草統制配

配給組合ニ入貨ヤレルモノナリ
明十九年度ニ於テハ別紙事業計画ニ詳述シテ北通ハ本年度供給
量ノ三倍以上ヲ要望シ来レリ。日本内地ニ於ケル食糧増産ノ部門ヨ
擔テ内地釀造界ノ本公司ニ倚信スル處極メテ切ナルモノアリ之ニ應
シ戰時下對日供給ノ使命ヲ帯ビル本公司トシテハ如何ニシテモ之ガ
要望ヲ即應スベク生産増加ヲ企圖シ之ニ要スル機械資材ヲ第二
次擴張用資材トシテ導入設置スベク内地株主所有遊休中古
品施設ヲ本公司ニ無償提供セシメ昨年三月末輸入ヨ完テ目下建設
中ノ増設工場ニ据付ケルベク鋭意準備中ナリ
尚若干不足スル資材アリ之等無急爲替機械輸入ノ既許可分
ノ範圍内ニテ十九年度早方第壹輸入ヲ入テ予定ナリ
以上ノ生産拡充用資金並ニ全需要量製造ニ要スル原料甘
草牧買資金獲得ノ方々ニハ現有資材並ニ借入資材以テシテ
ハ到底目的ヲ達シ得ズ又一株式会社ヨリノ借入ハ返済コソ
必要ナレ將策之ニ俟ツコトハ断念セザルベカラサルノ現況ナリ

繰速ノ如キ極度ノ資金難ニ直面セル本公司トシテハ急據之ガ
打同策ヲ講ズルノ必要ニ焦眉ノ急ニ迫リ居ル状態ニテ昨
年十月末臨時股東大會於テ臨時株主總會ヲ開催シ之ガ對
策ヲ諮リタル處別紙議案主總會議事録ニ示ス如ク將來不
安定ナル他人資本ニ依存シテハ到底重大使命ノ達成ヲ期シ
難ク此ノ際生産ニ必要ナル最少限ノ資金ヲ資本金増加ニ依
リテ要求ノ益ニ自己資本強化ヲ測リ以テ事業遂行ニ即カ
テ強ク要求マザル様決議シタル結果現有資本金貳拾五
萬圓ヲ新ニ七十五萬圓増資シテ資本金壹百萬圓トナスベキ
コトニ決定セリ
就テハ左記方法ニ依リ前述ノ増資實施致度候ニ付貴
政府ノ許可相賜度關係書類相添ヘ此段又申請矣也

記

一増資方法其他ニ就テ

(1) 現有資本金

蒙幣貳拾五万円也 壹株五拾圓 五千株 金額拂込済

第一回拂込 成紀七三六年十月日 一五、〇〇〇円
第二回拂込 成 七三八年三月日 一五、〇〇〇円
計 三〇、〇〇〇円

(2) 増資額

蒙幣七拾五万円也
壹株ニツキ五十円 壹方五千株

(3) 拂込方法及時期

(1) 第一回拂込 蒙幣参拾七万五千円也
壹株ニツキ肆万五千株 貳十五円

拂込時期

成紀七三八年年度内即成紀七三九年三月末迄
但蒙古政府其他関係官廳 許可簿名上拂
込ムモノトス

(2) 第二回拂込

蒙幣参拾七万五千円也
壹株ニツキ二十五圓 一万五千株

拂込時期

成紀七三九年四月以降蒙古政府及関係官廳
官廳 許可アリ次第 拂込ムモノトス

(4) 増資株式募集方法

現有旧株主 各持株数ヲ基準トシ株主
相互間於テ各株主負担能力ニ應ジ適宜
按配シテ 蒙幣壹万五千円トス
依テ公募ヲセザズ

(5) 株主名簿持株数

並ニ 拂込金額一覽表 (別紙)

本増資ニ對シ蒙古政府並ニ關係官廳ヨリノ許可アリ次
第在日本大阪市中本公司大阪出張所ニ於テ本株式拂込
徴收ニ關スル日本政府大藏省、委託支拂許可ヲ受ケ
收付各株主ヨリ株金徴收、上更ニ大藏省、送金許可
（外國為替買入許可証）ヲ得、在張家口蒙疆銀行
又ハ橫浜正金銀行張家口支店宛送金スルモノトス。

別紙添附關係書類

- 一 臨時株主總會議事録
- 二 成紀七三八年度事業經過概要並ニ資金繰概要
- 三 第二次生産拡張、完了後ニ於ケル工場生産能力ニ就キ
- 四 成紀第七三九年年度事業計畫書並資金計畫書
- 五 製品別原價計算表

聚糖甘草工業股份有限公司臨時總會議事錄

一、開會ノ日時 成紀七百三十八年十月二十六日午後一時

二、會議ノ場所 大阪市西區土佐堀通三丁目二四本公司大阪出張所

三、株主總數及ソノ議決權數 十五人 五千箇

四、出席者數及ソノ議決權數 十三人 四千二十箇

内委任狀ニ依ル出席者四人コノ議決權八百箇

五、議事ノ要領

董事長林大作議長トナリ開會ヲ宜シ議事ニ入ル

第一號議案 第二期營業年度本公司財産目錄、貸借對照表、損益計算書承認ノ件

別紙報告書ノ通承認ヲ得ントス

議長第二期營業年度ニ於ケル本公司ノ營業狀態ニ付キ詳細ニ説明ヲナシ本年度ニ於テ金壹萬七千餘圓ノ損失ヲ招キタルハ遺憾トスル處ナレドモコノ期間工場ノ建設ニ重キヲ置キ漸ク八月末日ニ至リ始業シ冬期又休業ノ已ムヲ得ザリシニ基因スルモノニシテ第三期營業年度ヨリハ諸般ノ準備整頓シ着々事業ヲ經營シ居ルヲ以テコノ繰越サレタル損失金ヲ充分補填シ尙相當ノ業績ヲ舉ゲ得ル見込ナル旨ヲ縷述シ承認ヲ求メタルニ全員異議ナク承認ス

第二號議案 本公司増資ニ關スル件

本公司現在資本金貳拾五萬圓ヲ壹百萬圓ニ増資シ新ニ増資セララルル七拾五萬圓ヲ株式壹萬五千株（一株ニ付五拾圓）トシ第一回拂込額一株ニ付貳拾五圓總計金貳拾七萬五千圓タラシメントスルニ付賛成ヲ求ム

議長原地及華北等ニ於ケル甘草エキスノ需要ノ著シキ増大セルコトヲ述ベ殊ニ日本内地ニ於テ醬油釀造ノ原料トシテ必需品タル本品ノ供給ハ一ニ本公司ニ倚信シ居ル關係上從來ノ設備ニテハ到底ソノ需要ヲ充タシ難ク此ノ際資本金ノ増加ヲ得テ事業ヲ擴充スルノ焦眉ノ急ニ迫リ居ルコトヲ詳細ニ説明シ贊成ヲ求メタルニ全員異議ナク賛成シ原案可決ス

議長ハ更ニ株式募集ノ方法、ソノ時期等ニ關シ全員ニ諮リタルニ滿場一致株式ハ公募ニ依ラズ之ヲ持株ヲ基準トシテ各自負擔能力ニ應シ取

捨加減シテ割當テ、ソノ割當數ノ決定及時期ソノ他コレニ關スル諸
 般ノ處理一切ハ董事會ニ一任スト陳ブ
 議事終了シタルヲ以テ議長閉會ヲ宣ス時ニ午後四時
 右議事ノ願末ヲ記録シ議長並ニ董事、監察人左ニ署名捺印スルモノナリ

成紀七百三十八年十月二十六日

蒙藏甘草工業股份有限公司臨時總會

議長 董事長

林 大 作



董 事

鴻 池 仙 市



董 事

池 田 康 太 郎



董 事

西 川 芳 太 郎



董 事

龍 山 梅 珪



監 察 人

内 井 康 博



監 察 人

松 田 乙 女



別紙第二

原料甘草收買成績

(一) 成紀七三八年(第三期)事業経過概要並資金繰概要
 本年度ニ於ケル予定收買數ハ百十方斤(五五万斤)ヲ目標トセシモ
 秋期收買ガ地方地ニ於ケル更性「インフレーション」ノタメ成績上
 不買收買量左ノ如シ

年	斤	兩	斤	兩
一七三七年度繰越残	二五〇,〇〇〇	市斤	一二五,〇〇〇	兩
一七三八年春期收買量	四三〇,〇〇〇	市斤	二一五,〇〇〇	兩
一七三八年秋期收買量	一五〇,〇〇〇	市斤	七五,〇〇〇	兩
秋草ハ現在未乾燥ノタメ予定數量ナリ				

(二) 製造數並販賣経過

- 一 原料草輸出
- 二 製造用消費原料
- 三 手持原料(草下)

計 八三〇,〇〇〇市斤 (四一五,〇〇〇兩)

年度頭約三、七五〇計

一 原料草輸出	二五〇,〇〇〇	市斤	(一二五,〇〇〇)	兩
二 製造用消費原料	四三〇,〇〇〇	市斤	(二一五,〇〇〇)	兩
三 手持原料(草下)	一五〇,〇〇〇	市斤	(七五,〇〇〇)	兩
計	八三〇,〇〇〇	市斤	(四一五,〇〇〇)	兩

註

① 原料草輸出先

對日鮮 輸出 一〇〇,〇〇〇市斤 (五〇,〇〇〇兩)
 對華北其他 一五〇,〇〇〇市斤 (七五,〇〇〇兩)

② 製造区分

(本年度未迄予想) 分輸未製約分(含八)
 對日供給半製 六五〇,〇〇〇兩 (一三〇,〇〇〇兩)
 對疆外輸(南園計) 六〇〇,〇〇〇兩 (一三〇,〇〇〇兩)

③ 昭和十八年十一月末日迄(三)事業成績

一 (販賣収益) 一八九五,〇封度(八六〇,三三兩) (封度一七五,三六五)
 製成品總賣上代 (含原料費) 七二七,四〇七,一〇
 二 總損金 (一三六,七五三,六〇) 七二七,四〇七,一〇
 三 売上原價販賣 其他諸名費 六三〇,一四八,七一
 三十七月未純益金 八七,三五八,三九

(4) 資金繰り状況
 四七三八年度末(七三九年首末日)純益金(予定)一四五〇〇〇円

(一) 資本金 二五〇、〇〇〇円

(二) 第一回拂込

一三五〇、〇〇〇円

(前年度繰上固定資産) 一三五〇、〇〇〇円

(三) 第二回拂込

一三五〇、〇〇〇円

右八本年度半期決算増設費六半充当セシタル為下半期以降流動不能ナリシリ

(四) 増資許可了次第七三八年度末迄第一回拂込了

三五〇、〇〇〇円次期流動資金充当可能

(五) 借入金

累計借越高(年度末予定)一五三九、〇〇〇円

返済高

一、〇二六、〇〇〇円

故に次年度繰越借入金残 (五〇三、〇〇〇円)

(六) 七三九年首末借入金内訳

人 横浜正金銀行 三五〇、〇〇〇円

乙 又 株式会社 三四七、〇〇〇円

計

七二七、〇〇〇円

△ 次年度繰越借入金内訳(年度末予定)

人 横浜正金銀行 三五〇、〇〇〇円

又 株式会社借入金 増設費充当金類拂

乙 又一株式会社 一三三、〇〇〇円

返済場合八七三九年

3. 別途借入金 二〇、〇〇〇円

度末迄返済予定

計

五〇三、〇〇〇円

七三八年度資金繰り 次年度繰越流動資金八別紙十九年度

資金計画書中ニ詳記シテリ

七三八年度事業計画書

資金計画書参考添附

年度初動ニ付シテ

別紙第三

第1次生産擴張完了後ニ於ケル工場生産能力ノ就テ

(一) 完了時期 成紀七三九年五月末日

(二) 生産能力

- イ 原料最大消費可能数量
- ロ 製品最大別生産能力
- ハ 設備供給用半製品
- ニ 種別輸出入別数量
- ホ 種内用規格工手

一月平均	一月平均
六〇〇〇 匹	一萬(但冬期間生産全減)
一〇〇〇 匹	七二〇〇 匹
四〇〇 匹	一六〇〇 匹
	四八〇〇 匹(五六〇〇 匹)



十八年度蒙旗市頭部之樹立

蒙旗甘草工業股份有限公司(昭和七年度)或紀七三年度
事業計畫並資金計畫書附事業收支豫算

本公司八本年八月末ヲ以テ工場其他製造設備萬端完了ヲ見
本年度收買セル原料甘草三十萬斤十五万斤ヲ大略明年二月末迄
ニ原料ノ大半ヲ製品トナシ三月中八明年度製造ニ對スル機械
其他製造設備ノ補修改良ヲナス豫定ナリ
而シテ明年度八三月上旬頃ヨリ原料收買準備ヲ開始シ解氷
期ト共ニ春期甘草ノ收買ヲ左記地域ニ對シ開始スル豫定ナリ

記

- 一 包頭ヲ中心トスル
- 烏盟
 - 1. 西公旗
 - 2. 中公旗
 - 三箇年間收買契約締結ニ基キ實施ス

- 3. 東公旗
- 4. 安北縣
- 5. 包頭市外側地區 西腦包 三村其他
- 二 和林縣

三 托克托縣 黑城附近

四 察南政廳 管内 下花園 萬安 懷來

以上地區ニ於テ大略七十萬斤(三十五萬担)内外ノ收買ヲナス豫
定ニシテ豫メ既ニ明春ノ收買ニ關シ契約締結済ミナリ

春草七十萬斤(十五万担)秋草四十萬斤(二十万担)ニ至テ二十五萬担
實際收得量百十萬斤(五万担)ヲ目標トシテ收買ヲナス方針ナリ

原料百十萬斤(五万担)ヲ以テスル事業細目計畫並ニ資金計
畫事業收支豫算書左如シ

一 資金計畫

明年度八本年下半期ニ於テ未拂込資本金ノ繳收ヲテ二月末

未拂込申請ヨリ許可ヲ仰ク豫定)之ヲ以テ自己資本ノ強化
ヲ計リ之ニ基ク資金計畫ヲ樹立スル豫定ナリ

(1) 資本金(拂込済) 二五〇,〇〇〇圓

(2) 第一回拂込 一五〇,〇〇〇圓
ハ工場建設其他製造設備ノ
應既ニ支出資産化シ流動不能ナリ依テ

流動自己資本 一五〇,〇〇〇圓

(3) 借入金 七五〇,〇〇〇圓

正張紙ハ又ニ株式会社ヨリ明年度中所需資金トシテ最高限
度蒙幣壹百萬圓也、借入ヲナスコトニ關シ去ル十月末日日本
大阪中一於テ本公司主務部タル日本甘草五キス工業組合責任
者、正大阪又一株式会社本社主務部トノ間ニ諒解成立セリ、
右借入金中差当リ七五〇,〇〇〇圓ノ借入ヲナス豫定
借入條件 金同日歩二歳期間六箇月ヲ基準トス
但シ期間逾期差支ヘナシ

(4) 預り金 三五〇,〇〇〇圓

本公司董事長林大佐氏ヨリ日步壹錢ノ金利ヲ以テ本公
司カ借リ受テ預り金トシテ流動資金ニ利用ス

計 九一〇,〇〇〇圓

与資金振當要領

(1) 原料甘草買付資金引當

原料收買契約先渡金並ニ權利金五〇,〇〇〇圓

收買資金平均手持原料五萬石(三万石單價百市斤
五〇石五五圓ヲ標準トス)

(2) 現金 二五〇,〇〇〇圓

(3) 收買用見込品購入引當金 一三五,〇〇〇圓

(原料甘草ニ對スル交換物資購入ノ食糧雜貨
其他奥地向商品)

2. 機械取替補修費 四三五,〇〇〇圓
五〇,〇〇〇圓

- 3. 製衣造用ニ業藥品 (硫酸苛性ソーダ) 四〇,〇〇〇
- 4. 工場用消耗品燃料費機油購入引當金 五〇,〇〇〇
- 5. 職工賃金引當金 五〇,〇〇〇
- 6. 営業経費 (人件費旅費其他一般営業用経費) 一五〇,〇〇〇
- 7. 倉庫新築費引當金 五〇,〇〇〇
- 8. 製薬品用容器 (五ガロニ罐) 箱代引當金 二五,〇〇〇
- 9. 豫備金 六〇,〇〇〇

計 九一〇,〇〇〇

原料甘草收買ハ公司カ收買人ヲ指揮督勵シ自カヲ以テ採掘收貨
スルモノニシテ奥地ヨリノ自然出廻リヲ俟ツニ非ザル爲採掘收貨既燥
工場輸送製品出来上リ迄少クモ五箇月一六箇月間ノ日數ヲ必要
トスル爲資金廻轉極メテ運悪ニシテ常ニ多額ノ資ヲ保持シ
適宜運轉スルコトヲ必要トスルモノナリ

(一) 事業計畫

1. 原料並ニ製品ニ関スル計畫
原料ヲ五ノ如ク區分使用ス

一箇年收買量 百十萬斤 (五五萬斤) 中
 1. 中間製品製造用 六〇萬斤 (三〇萬斤) 原料ヲ以テ中間製品
 五四〇〇貫 (二〇,二五〇担)
 2. 口四〇万斤 (二〇万担) 運以テエキス四二万封度 (一九万一千担) (日本
 内地規格品九六・七八%)
 八〇万斤 (五万担)
 右百十萬斤 (五五萬担) 收買中極メテ太キモノニシテ裁斷器ニテ切
 斷不可能ノモノヲ選出一定規格外寸法ニ切斷整理不全收買數
 量約一〇多ナリ之ニ南方圖又ハ中南支向々生藥材料トシテ原
 料ニシテ輸入ル方針ナリ

2. 輸出入ニ際シテハ又一株式会社ヲシテ代行セシムルコトアルベシ
 3. 中間製品 五,四〇〇貫 (二〇,二五〇担) (一貫ニ就キ八〇円) (一箱一〇
 八貫) (四,五担) 入り 四七〇箱 (五ガロニ罐ニケル箱)

一箱ノ價格ハ六四円 四七。箱計四。六。八。八。円
 六五キス四二万封度(一凡万二千飛)價格七三五。〇。〇。圓
 規格品一。〇。封度(五。四。飛)一七五。圓五。ガ。口。罐。入。

規格品 數量 價格
 五。〇。封度(三。飛)八七五。〇。錢
 五。〇。封度(一。一。七。五。圓
 五。〇。封度(一。一。三。七。五。圓

四倍濃縮 五。〇。封度(一。一。三。七。五。圓
 二倍濃縮 五。〇。封度(一。一。七。五。圓

容器入手ノ多クシニ依リ異ルモ最少限ニ一。〇。一。二。五。〇。罐トシ四倍
 濃縮品ヲ以テ販賣用製品トスル豫定ナリ
 但シ現庄手持ドラム罐(五。〇。〇。封度(三。二。飛)ハ以テ疆内販賣
 ニ使用スルコトアルベシ又容器ノ數量ニ依リテハ
 一罐 規格品 (六。七。八。〇。〇。含有) 五。〇。封度入 八。四。〇。〇。罐
 二倍 濃縮 五。〇。封度入 四。二。〇。〇。罐
 四倍 濃縮 五。〇。封度入 二。一。〇。〇。罐
 如ク成ル可ク需要者ノ使用ニ便ナル規格品ヲ以テ販賣シタ

都合ニ依リテハ前記三者ヲ併用スルコトアルベシ
 夏季(五。キ。ス。ガ。加。熱。ニ。依。リ。膨。脹。ス。ル。為。規。格。品。ヲ。標。準。ト。シ。濃
 縮品ニテモ一。〇。〇。封度程度以上充滿不可能ニ付容器ヲ多
 量必要トス
 六。容 器

一、五。〇。〇。罐ヲ必要トス新。四。ノ。入。可。不。可。能。ニ。付。官。廳。御。當。局、
 指示ニ基キ蒙。疆。石。油。公。司。ヨ。リ。配。給。ヲ。受。ケ。ル。手。配。中。ナ。リ
 二、中間製品及五。キ。ス。八。木。箱。已。裝。ト。シ。中。間。品。五。四。〇。〇。貫(三。二。五。〇。
 飛)ヲ。四。七。〇。箱。ヲ。至。六。〇。〇。箱。ト。シ。五。キ。ス。四。二。万。封。度。ニ。ハ。規。格。品。ヲ。ハ
 約。一。万。箱。四。倍。エ。キ。ス。ニ。テ。ハ。約。二。五。百。箱。ヲ。必。要。ト。ス。ル。ニ。フ。キ。環
 地。調。辨。手。續。ハ。楊。柳。木。材。最。少。約。二。萬。才。ヲ。必。要。ト。ス。
 荷。造。用。帶。鋼。並。ニ。釘。ハ。物。動。物。資。割。當。ヲ。申。請。中。ナ。リ。
 六。製。造。用。藥。品

中間製品並ニ加工製造ニ必要ナル硫酸並ニ苛性曹達物
動物資ニ依ル割當ヲ互知ク申請中ナリ

不硫酸 三七、六〇〇 吨(内一三、六〇〇 吨ハ本年度残餘ヲ繰
越使用加工四二萬封度(九万一千 吨)一〇〇 封度(四五
四 吨)三付四 吨一五 吨ヲ要ス依テ一七、二二〇 吨一乃至
二一、〇〇〇 吨ヲ必要トス

中間製品五、四〇〇 貫(三、五〇〇 吨)母貝(三、七五 吨)付四 羅
依テ六、四八〇 吨ヲ必要トス
計二、三七〇 吨

本年度残餘一三、六〇〇 吨ヲ繰越使用スルニ付互記敷
量ヲ必要トス 一〇、一〇〇 吨

口 苛性曹達

加工四〇 萬封度製造一〇〇 封度(四五四 吨)付 一、一
一五 吨
必要量 四、〇〇〇 吨乃至六、〇〇〇 吨

5

内本年度残餘約四〇〇 乃至五〇〇 吨程度アリ

現地鹽業組合ヨリ本年度二〇〇〇 吨ノ配給アル由ニ付明
年度ハ最少限必要量タル四、〇〇〇 吨ヨリ

本年度繰越残餘四〇〇 吨ヲ差引キタル互記敷
量ヲ絶対必要トス三、六〇〇 吨

5. 機械並ニ製造設備

(イ) 本年度ニ於テ加工(規格品)一、六〇〇 萬封度三、七方ニ千四百 吨
生産製造可能ノ設備ヲ完了セルヲ以テ明年度ハ之ガ補
修分部品取替等ヲ以テ之ガ維持ヲ計ルコト

(ロ) 内地ヨリ無為替輸入(株主無償提供)ヲ許可セラルル甘
蜜加工製造用機械器具中(金額内地價格製造時金五萬由

圓)本年度輸入分約三分ニテ除キタル残餘(金額五萬由

六千圓也)ヲ成ル可ク速カニ當地區ニ導ル上生産加工一
〇〇 萬封度(四五四、〇〇〇 吨)製造ノ可能ノ設備スル方針
ナリ

二場内ニ於ケル倉庫、建築本年度中ニ合ワザリシ為本
年度工費約五萬圓、豫定ヨリ原料倉庫ヲ新築スル豫
定ナリ

政府當局ニ對シ新築計畫並ニ資材調達書提出済ミ

人員ノ増員

製糖工場ニ原料收買等公卷展シ多事多化トナル
ニ付之ニ必要ナル要員約五名トシ七名ヲ内地ヨリ増員
セ人員ノ増強ヲ計リ事業ノ進展ニ資スル豫定ナリ

以上

甘草土キス原簿計算表

要素区分	製品区分		半製土キス		原簿計算表		園形土キス	
	1/1	2/2	金額	%	金額	%	金額	%
原料	甘草	硫酸	12,350.00	46.31%	9,950.00	49.07%	26,600.00	71.00%
原料	苛性ソーダ		0.5400	2.62%	0.1600	0.07%	1,710.00	4.56%
原料	間接材料		0.4780	1.79%	0.0900	0.41%	0.4300	1.13%
原料	直接労務費		1.1000	4.12%	0.1600	0.22%	1,580.00	4.30%
原料	間接労務費		0.2000	0.75%	0.0400	0.16%	0.4300	1.13%
労務費	消耗品費		0.1173	0.45%	0.2204	0.12%	0.2365	0.63%
労務費	動力照明費		0.0200	0.07%	0.0055	0.02%	0.0595	0.16%
労務費	修繕費		0.2920	1.09%	0.0782	0.35%	0.7950	2.12%
労務費	税金公課		0.2315	0.88%	0.0045	0.02%	0.0465	0.12%
労務費	事務及試験費		0.0425	0.15%	0.0150	0.07%	0.0855	0.23%
労務費	旅費及交通費		0.1000	0.39%	0.0450	0.22%	0.4640	1.24%
労務費	保除料		0.0300	0.11%	0.0065	0.03%	0.0724	0.19%
労務費	厚生費		0.0500	0.18%	0.0200	0.09%	0.1400	0.37%
労務費	接待費		0.0350	0.13%	0.0040	0.02%	0.0730	0.19%
労務費	運賃		0.0930	0.34%	0.0145	0.07%	0.1510	0.40%
労務費	減価償却費		0.2700	0.97%	0.0810	0.37%	0.8200	2.15%
労務費	雑費		0.2500	0.91%	0.0400	0.18%	0.4120	1.09%
製造	原簿合計		16,000.00	60.00%	26,800.00	100.00%	35,000.00	100.00%
一級管理	販費		1,850.00	6.94%	0.3875	0.13%	6,500.00	17.71%
販費	原簿		17,850.00	66.94%	3,142.50	11.43%	41,500.00	109.71%
販費	利益		3,480.00	12.66%	0.7025	0.31%	8,500.00	22.83%
販費	標準		21,330.00	80.00%	3,850.00	14.28%	50,000.00	131.58%

昭和十九年度(或紀七三九年度)事業計畫書

蒙疆甘草工業股份有限公司

研-0613

昭和十八年度(或紀七十八年度)ニ於テハ操業以來日尚浅ク、諸般ノ事情ヨリシテ計畫ニ基ク約七五%強ノ成績ニ止マリタルハ誠ニ遺憾トスルトコロナルモ、本年度ニ於テハ工場ノ拡張ト共ニ其ノ不備ヲ補填シ、生産拡充ニ邁進セントス。

一、原料收買ニ関スル計畫

原料甘草、收買ニ當リテハ自然出廻ヲ待ツニ非ラス、公司ノ自力ヲ以テ事ニ望ミ居レ共、未ダ充分ナル成果ヲ納メ得ザルナリ然レ共ハ方手段ヲ盡シ生産ニ必要ナル原料、收買ニ関シテハ極力努力中ナリ即チ

1. 包頭ヲ中心トスル地域

西公旗、中公旗、東公旗

(右ハ三ヶ年ノ收買契約締結ニ基キ實施ス)

包頭市外側地区タル 西腦包、三村 其他

2. 和林縣

3. 托克托縣

(黑城附近)

4. 宣化省管内 (一花園、萬安、懷柔)

以上ノ地区ニ於テ大略春草四〇萬疋、秋草ニ〇萬疋計六〇萬疋内外、收買ヲナス方針ナレ共諸般ノ事情ヨリシテ多少ノ減少ハ免レズ

二、生産ニ関スル計畫

製品甘草エキスノ要望ハ日ト共ニ高マリ日本ヲ始メトシ華北或ハ華中朝鮮ト共、需要ハ急クベキモ、アリ、特ニ日本ニ於テハ今般物動品トシテノ取扱ヲ受ケ益々其ノ使命ノ重且大ナルヲ痛感スル次第ナリ

茲ニ於テ既設々備ヲ更ニ拡張シ以テ生産能力ノ向上ヲ計ルベク本年度上半期中ニ其ノ拡張工事ヲ完成セントス、而シテ收買セル原料六〇萬疋ニ依リ左記ノ如ク生産ニ邁進スル計畫ナリ

三 製造用工業藥品ニ関スル計畫

1. 半製甘草エキス 約七二〇〇〇 吨 (一九二〇 貫)
2. 固型甘草エキス 約一二〇〇〇 吨
3. 規格甘草エキス 約四八〇〇〇 吨 (二二八二 對度)

製品ノ生産ニ必要ナル硫酸及苛性ソーダハ物動計畫ニ依ル割當ヲ
 要望シアレ共前年度ニ於ケル実績ハ硫酸ハ比皆無、苛性ソーダハ
 二六〇〇 吨ナリ

然ルニ製品生産上硫酸ハ第一部門ニ於テ不可缺ノ副原料ニシテ
 硫酸無クバ全生産不能トナリ、公司ニトリテハ重大ナリ問題ナレバ
 昭和十七年度(成紀七三七年)ノ繰越ト途次獲得セルモノト依リ
 辛ジテ操業ヲ繼續シタル次第ナリ

依テ本年度ニ於テハ極力割當ヲ受クルコトヲ懇願スルモノナリ
 1. 硫酸 エキス製造ニ於テ第一部門ニ不可缺ノ副原料ナリ

半製エキス 一吨ニハ 約 〇・三 吨
 固型エキス 一吨ニハ 約 〇・九五 吨
 規格エキス 一吨ニハ 約 〇・九 吨

依テ本年度生産計畫ニ基ク必要數量ハ

半製エキス 七二〇〇 吨ニ對シ 約 二一六〇〇 吨
 固型エキス 一二〇〇〇 吨ニ對シ 約 一一四〇〇 吨
 規格エキス 四八〇〇〇 吨ニ對シ 約 四三三〇 吨

2. 苛性ソーダ

半製エキスヲ除クエキス製造ニ於テ第二部門ニ又不可
 缺ノ副原料ナリ

固型エキス 一吨ニハ 約 〇・四一六 吨
 規格エキス 一吨ニハ 約 〇・〇四六 吨

依テ本年度生産計畫ニ基ク必要數量ハ

固型エキス 一二〇〇〇 吨ニ對シ 約 四九九二 吨
 規格エキス 四八〇〇〇 吨ニ對シ 約 二二〇八 吨
 計 七、二〇〇 吨ヲ必要トスルモノナリ

四 容器包装材ニ関スル計畫

製品容器トシテ素材ノ入手困難ニツキ、五ガロン缶三七〇〇 缶ノ配給ヲ
 受ケタリ

本年度ニ於テハ前年度ト同様ノ配給ヲ要望スル次第ナリ

半製エキス用(一缶四。瓶入) 一八〇。缶
 固型エキス用(一缶一五。瓶入) 七一〇。缶
 規格エキス用(一缶二。瓶入) 二一八。缶

計

四六九。缶

尚前年度繰越約八〇。缶中約五〇。缶ハ腐蝕甚ダシク缶洩レヲ生ジ
 使用上ノ不良缶トシテ固型エキス用ノミナラデハ使用不可能ナレバ本
 年度ニ於テハ要望数量ノ全数ヲ割當要望スルモノナリ
 包装材ハ前年度第四四半期ニ至リ政府御當局ノ御援助ニ依リ現木
 九五〇。オヲ華北ヨリ導入シタリ
 第三四半期以前ニ於テハ逕交現地ニ於テ獲得シタルモ遂ニ入手困難
 トナリ右現木ノ導入ニ及ビタルモノナリ
 依テ本年度ニ於テハ出来得ル限り包装板割材トシテノ割當ヲ要望ス
 レド止ムヲ得ザレバ現木ニテ割當ヲ得ルモ差支ナキモノナリ
 必要数量ハ

半製エキス用(一箱四。瓶一缶入) 約九〇〇。箱
 固型エキス用(一箱三。瓶一缶入) 約四〇〇。箱
 規格エキス用(一箱二。瓶一缶入) 約一〇〇。箱

計

一四〇〇。箱

一箱七。オトシテ約二〇〇。石ノ板割材ヲ必要トスレ共
 現木ノ場合ハ二〇〇。石ノ板割材ヲ取得出来得ル数量
 ヲ必要トスルモノナリ

五 鋼材(加工)

包装用木箱作製ニ要スル丸釘(二寸)及帯鋼ハ物動計畫ニ基キ割
 當ヲ受ケルモノトス
 前年度ニ於ケル実績ハ丸釘一八〇。担ニシテ帯鋼ノ割當ハ皆無ナリ
 帯鋼ハ梱包ニハ荷造ノ完全性ヨリ缺クベカラサルモノニシテ對日輸出品
 ニ於テハ殊ニ必要ナレバ中古品ヲ逕交獲得使用シタル現況ナリ
 依テ本年度ニ於テハ極力物動計畫ニ基ク割當ヲ要望スルモノナリ

- 1. 丸釘 一箱ニ對シテ〇。三。担 二四〇〇。箱分 二八八。担
- 2. 帯鋼 一箱ニ對シテ〇。八。担 同 二二一。二担

六 油脂類

前年度ニ於テハシリンダー油、マシン油、グリースノ割當ハ各四半期末
 必要數ノ割當アリ本年度ニ於テモ引継キ之ガ割當ヲ受ケタリ

七、工場設備及附属設備ニ関スル計畫

必要数量ハ	シリンドー油	六二缶	一一一六立
	マシン油	六一缶	一〇九八立
	グリース		一一八四立

第二期工場拡張建設ノタメ前年度ニ於テ豫算七萬五千円ヲ計シ工場、建築ニ着手大略竣工ヲ見タリ、前回許可ヲ受ケタル機械類ノ残余ハ前年度第三四半期ニ至リ日本ヨリ導入目下、尚次据置ニ着手シ本年度上半期ニハソノ完成ヲ見ルコトナレリ、
 尚一部ノ残余ハアルモ更ニ整備セントス、
 依テ工場設備トシテハ本年度ニ大略完成シタルヲ以テ更ニ豫算四萬円ヲ計シ工場倉庫ノ建築ヲ起スル計畫ナリ、
 従業員ノ住宅問題ハ住宅沸底ヲ折柄操業當初ヨリ計畫中ナレ共資材其他ノ關係上其ノ實現ヲ見ザリシタメ現在工場ノ一部ヲ開放シ單、独身者、宿舍ニ充當シヤル現況ナリ、
 然レ共従業員、家族呼寄、婚姻等ニ依リ必然的ニ重要視サレタルタメ本年度ニ於テ豫算七萬五千円ヲ以テ建築ヲ計畫セリ

八、製品販賣ニ関スル計畫

半製エキスハ計畫生産量約七二〇〇。社ヲ對日輸出品トナシ 華北生薬協會ニ由輸出スルモノトス
 固型エキスハ計畫生産量約一三〇〇。社中華北、華中向約六〇〇。社
 残ハ朝鮮又ハ疆内ニ於テ販賣スルモノトス
 規格エキスハ計畫生産量約四八〇〇。社ヲ疆内消費ニ充當ス
 尚必要ニ應ジ規格品ヲ四倍、濃縮品トナシ販賣スルコトアルベシ
 以上

昭和十九年度企業資金計畫書

1. 昭和十九年度資金計畫總括表
2. 昭和十八年度資金実績表
3. 昭和十九年度資金計畫内訳表 收入之部
4. 資金計畫内訳表 支出之部
5. 事業費内訳表
6. 豫定損益計算表並其内訳表

會社名	蒙疆甘草工業股份有限公司
-----	--------------

昭和十九年度資金計畫總括表

会社名 蒙疆甘草工業股份有限公司

(單位千円)

種目別	地区別、四半期別	地区別				四半期別				備考	
		日本	華北	滿洲	蒙疆計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
收入之部	前期繰越流動資産				1108	1108	1108				
	當期純益金		346		10	356	95	100	76	85	
	株金徴收	375				375	375				
	借入金										
	社内保留金 其他				33	33				33	繰償償却費
	計	375	346		1151	1872	1578	100	76	118	
支出之部	事業費				170	170	30	40	50	50	工場拡張、倉庫、宿舍建築費
	借入金返済				503	503					
	利益金處分(社外分配)	106						106	200	203	
	其他					106				106	
	後期繰越流動資産										
	計	106			1093	1093				1093	
為替送金	受	130			721	851	474	140	250	1452	
	拂	375	346		130	851	474	103	79	195	
無為替輸入	輸入				10	10	10				機械残余導入
	輸出	10				10					

為替送金「受」日本欄 130、大坂出張所経費 24、利益社外分配 106、7 受入、「蒙疆」721、「日本」株金徴收 375、「華北」蒙前留上代受入 130、上「拂」日本欄 375、「株金徴集」華北 346、「製品売上利益」蒙疆 130、「大坂出張所経費」24、利益社外分配 106、7 拂入、無為替輸入 10、「機械残余」導入 10

1948年
日算 (1004年)

昭和十八年度資金実績表

會社名 蒙疆甘草工業股份有限公司 (單位千円)

種目別	地区別 四半期別	地区別				計	四半期別				備考
		日本	華北	滿洲	蒙疆		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
收入之部	前期繰越流動資産				243	243	243				
	当期純益金		145		5	150	34	74	15	27	
	株金徴収	375				375					
	借入金				1,529	1,529	730	190	509	100	
	社内保留金				21	21				21	秋償債却費
計		375	145		1,798	2,318	1,007	264	524	523	
支出之部	事業費	14			95	109	20	10	35	44	施設建設費工場建築費
	借入金返済				1,026	1,026	76	277	323	350	
	利益金處分(社外分配)	75				75				75	
	其他										
	後期繰越流動資産				1,108	1,108					1,108
計		89			2,229	2,318	96	287	358	1,577	
為替送金	受	97			520	617	33	72	18	494	
	拂	375	145		97	617	33	72	18	494	
無為替輸入	輸入				19	19				19	機械輸入
	輸出	19				19				19	

為替送金「受」欄「日本」97ハ大阪出張所至費 8. 無為替輸入機械運賃 14 利益社外分配 75、送金トス「蒙疆」620ハ株金375、費上代145
 同上「拂」欄「日本」375ハ株金徴収トス 同シ「華北」145ハ製品費上代トス「蒙疆」97ハ「受」欄「日本」ト同シ「蒙疆」311、送金トス
 無為替輸入 19ハ機械輸入トス

365
昭和十九年

3 昭和十九年度資金計畫内訳表 收入之部

會社名 蒙疆甘草工業股份有限公司

(單位千円)

種目	金額	内訳
前期繰越 流動資金	1108	現金 1、原料仮掛金 210、 預金 255、原 料 255、 買掛金 4、副原料 50、 收買用物資 120、 製 品 211、 仕掛品 2
当期純益金	356	總益金 2320、 — 總損金 1964
株金徴收	375	増資 = 依ル新株 株主名 (株大外 13名) 拂込地「日本」 株大外 西川 敬太郎 後藤 利根次 龍山 梅 睦 池田 鹿太郎 小笠原 淡治郎 内井 宗博 萩原 義暢 濱地 弘市 日惹 喜八 西田 宗世 松田 乙女 山下 三郎 鎌田 積
借入金	—	
社内保留金	33	諸減價償却費
其 他	—	
計	1872	

昭和十九年度資金計畫内訳表 支出之部

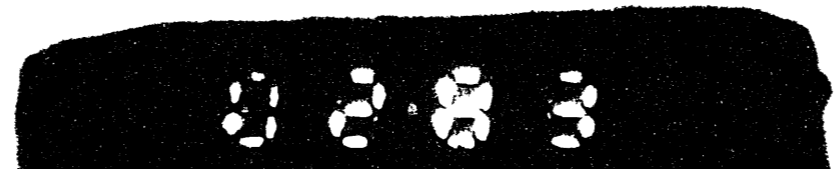
會社名 蒙疆甘草工業股份有限公司 (單位 千円)

種目	金額	内 訳
事業費	170	工場拡張建設費 55. 工場分庫建築費 75. 従業員宿舍建築費 40
借入金返済	503	正金銀行 350 二ヶ年 又一株式会社 153 二ヶ年
利益金處分中 社外分配金	106	配当金 年 8% 第四期分 (自昭和十九年四月一日 至昭和二十年三月三十一日) 80. 役員賞與金 年 7.4% " " " 26.
其他	-	
後期繰越 流動資産	1,093	現金 1 原料 350 仕掛品 3 預金 207 副原料 45 賣掛金 5 收買物資 127 原料取掛金 205 製品 150
計	1,872	

5 昭和十九年度事業費内訳表

會社名 蒙疆甘草工業股份有限公司 (單位 円)

科目	金額			内資材費	備考
	上期	下期	計		
機械設備拡張費	55,000		55,000	15,000	機械設備器材 日本製 導入 運轉=至以迄 費用
工場倉庫建築費	20,000	20,000	40,000	30,000	工場倉庫建築
宿舍(工場内)建築費	25,000	50,000	75,000	55,000	従業員宿舍 工場内建築
計	100,000	70,000	170,000	100,000	



昭和十九年度豫定損益計算書

会社名 蒙疆甘草工業股份有限公司 (單位)

本年度總益金	本年度總損金	差引本年度純益金	備考
2,320,560	1,964,280	356,280	該大額訂雪下河 30.7 含有又 總益金 製品賣上高 純損金 製造費及常本不備以

本年度總益金内訳表

科目	金額	數量	單價	備考
半製工キ又賣上高	1,535,760	72,000 kg	21.33	對日函(華北各由) 批發 55%
現格工キ又賣上高	184,800	48,000 kg	3.85	對華北及疆內 批發 6.78%
固型工キ又賣上高	600,000	12,000 kg	50.00	對華北及疆內 批發 72%
計	2,320,560	132,000 kg	75.18	

本年度總損金計算表 (半製品 100 kg 当り)

科目	金額	製品別金額	製品別金額 (100 kg 当り)	備考	科目	金額	製品別金額	製品別金額 (100 kg 当り)	備考	
主原料(増)費	1314160.00	888,200.00	1,235.00	半製品 72,000 kg	厚生費	6240.00	3,600.00	5.00	半製品 72,000 kg	
		71,760.00	199.50	規格 48,000 kg			960.00	2.00	規格 48,000 kg	
		317,200.00	2,660.00	圓型 12,000 kg			1,680.00	14.00	圓型 12,000 kg	
副原料	硫酸	67,176.00	38,880.00	54.00		接待費	3,732.00	2,520.00	3.50	
			7,776.00	16.20				336.00	0.70	
			20,520.00	171.00				876.00	7.30	
副原料	苛性ソーダ	11,520.00	3,532.80	7.36		運賃	9,192.00	6,696.00	9.30	
			7,987.20	66.56				696.00	1.45	
			34416.00	47.80				1,800.00	15.00	
副原料	間接原料	46,680.00	4,320.00	9.00		減價償却費	33,168.00	19,440.00	27.00	
			7,944.00	66.20				3,888.00	8.10	
			7,226.00	110.00				9,840.00	83.00	
労務費	直接労務費	105,840.00	7,480.00	16.00		雑費	24,864.00	18,000.00	25.00	
			18,960.00	158.00				1,920.00	4.00	
			14,400.00	20.00				4,944.00	41.20	
労務費	間接労務費	21,480.00	1,920.00	4.00		製造経費合計	1,709,280.00	1,152,000.00	1,600.00	半製品 100 kg = 付
			5,160.00	43.00				137,280.00	286.00	規格 100 kg = 付
			8,445.60	11.73				420,000.00	3,500.00	圓型 100 kg = 付
消耗品費	消耗品費	12,358.80	1,075.20	2.24		一般管理費及販賣費	225,000.00	133,200.00	185.00	
			2,838.00	23.65				13,800.00	28.75	
			1,490.40	2.07				78,000.00	650.00	
動力照明費	動力照明費	2,444.40	264.00	0.55						
			690.00	5.75						
			21,024.00	29.20						
修繕費	修繕費	34,308.00	3,744.00	7.80						
			9,540.00	79.50						
			2,268.00	3.15						
租税公課	租税公課	3,042.00	216.00	0.45						
			558.00	4.65						
			3,060.00	4.25						
事務費及試験費	事務費及試験費	4,806.00	720.00	1.50						
			1,026.00	8.55						
			7,200.00	10.00						
旅費及交通費	旅費及交通費	14,928.00	2,160.00	4.50						
			5,568.00	46.40						
			2,160.00	3.00						
保険料	保険料	3,340.80	312.00	0.65		總損金合計	1,934,280.00	1,285,200.00	1,785.00	半製品 72,000 kg 生産
			868.80	2.04				151,080.00	314.75	規格 " 48,000 kg "
								498,000.00	4,150.00	圓型 " 12,000 kg "

備考 半製品 72,000 kg、規格 48,000 kg、圓型 12,000 kg を生産隠蔽トス
 本表中ハ 法人税引当損 30 ヲ含マス

傳

張大經普通第二〇七號

昭和十九年一月二十七日

在張家口大日本帝國大使館事務所長
持命全權公使 岩崎 氏 男

大東亞大臣 青木 一 男 殿

對日供出甘草エキス増産ニ關スル件

首題ノ件ニ關シテハ昨年末中央ニ於テ開催セラレタル貿易會議ノ際貴方係官ヨリ御懇懇有之タル處ナルガ蒙古政府並關係業者タル蒙疆甘草股份有限公司ニ付之ガ調査致シタル結果添附書類ノ如キ回答附之タルガ該計畫年産内地向半製品（純度五五%）七二屯、地場向規格品（同六七八%）四八屯、華北向固型品（純度七二%）一二屯ヲ目途トスル工場設備擴張ハ四、五月頃完了直チニ運轉ヲ見ル運ビトナル予定ナルモ

商第29/5
19.2.29
大東亞大臣官署
第280
20.7

興亞院蒙疆連絡部

158
19.2.27
大東亞大臣

興亞院蒙疆連絡部

唯右ニ要スル王原料甘草六〇〇屯ノ内本工場自身ノ手ニテ比較的確實ニ入手シ得ルハ地場産ノ三〇〇屯ニ過キズ殘余ノ三〇〇屯ハ厚包貿易組合ヲ通シテノ西北モノト、オルドスモノトニ期待セザルベカラズ從テ之ガ入手量不確實ナルヲ免レザルモ當方トシテハ蒙古政府トモ充分連絡シテ極力入手量ニ遺憾ナキヲ期シ傍々可能ナル限り他地域モノヲ内地向ニ振替フベク次テ容器、包装材料並ニ副原料タル硫酸、苛性ソーダ等ノ手當狀況ニ就テハ右添附書類中ニモ述べアル處ナルガ貴方ノ特別ナル御配慮ヲ相煩シ度

追テ本公司ハ右増産設備ノ關係モ有之本年度内七拾五萬圓増資（全額内地徴收半額拂込）ノ計畫有之近日中貴方宛關係書類送付致スベキニ付右御含ミ置キ相成要

研-0613

甘草エキス増産ニ關スル件

經濟部商工科
成紀七三九年一月十七日

一、設備

設備ハ公司設立當時ノモノノミニテハ不充分ナル爲昨年下半期ヨリ
舊設備ニ等シキモノヲ増設中ニシテ現在略完成セリ
増設後ノ年間生産能力次ノ如シ

1. 半製品（日本向） 約七三〇〇〇担（一九二〇〇貫）

2. 固型（華北向） “一三〇〇〇〇”

3. 規格品（地場向） “四八〇〇〇”（二、八二〇封要）

二、資金

資金ハ現在拂込資本金貳拾五萬圓ノ外ニ又一株式會社ヨリ參拾五萬
圓正金銀行ヨリ參拾萬圓ノ借入金ヲ以テ充當シ原料甘草收買並ニ運
轉資金ニ不自由ヲ感ジ居リ近ク増資（七拾五萬圓増資半額拂込）ノ
申請ヲナス予定ナリ

三、原料

原料甘草ハ元來沿線若ハ地場産ノモノヲ充當スル予定ナリシガソレ
ノミニテハ増産ノ原料ヲ充スコト能ハズ本年度ハ厚包貿易ヲ通ジ西
北勿ヲ使用スル予定ナリ、尙黃河南岸（西臚包）ノ甘草收買ノ計畫
アルモ其ノ實施ニ當リテハ對蒙地工作ノ關連モアリ更ニ研究ノ余地
アリ

四、材料

硫酸、苛性ソーダ等藥品類特ニ人手困難ニシテ日本向半製品ハ苛性
ソーダ不要ナルモ溶解五ガロン罐ヲ必要トス
硫酸三、七三二〇担、容器四、六九〇罐ナリ

五、人員

人員ハ日下華人三〇名、日人三名居レ共多少増員ノ要アリ

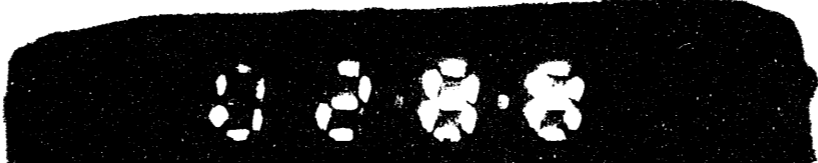
六、調査料

日本ハ輸入ノ際ノ調査料ハ半製品一貫目當リ約五〇圓ニシテ一八年
度六、四九一貫（二四〇〇〇担）ニ對シ約三二萬圓ナルヲ以テ本年ハ
七、二〇〇〇担トシテ約一〇〇萬圓トナル

昭和十九年度(或紀七三九年度)事業計畫書

蒙疆甘草工業股份有限公司

研-0613



昭和十八年度(或昭和十九年度)ニ於テハ操業以來日尚浅ク、諸般ノ事情ヨリシテ計畫ニ基ク約七五%強、成績ニ止マリタルハ誠ニ遺憾トスルトコロナルモ、本年度ニ於テハ工場ノ拡張ト共ニ其ノ不備ヲ補填シ、生産拡充ニ邁進セントス、

一、原料收買ニ関スル計畫

原料甘草、收買ニ當リテハ自然出廻ヲ待ツニ非ラス、公司ノ自力ヲ以テ事ニ望ミ居レ共、未ダ充分ナル成果ヲ納メ得ザルナリ然レ共ハ方手段ヲ盡シ生産ニ必要ナル原料ノ收買ニ関シテハ極力努力中ナリ、即チ

1. 包頭ヲ中心トスル地域

西公旗、中公旗、東公旗

(右ハ三ヶ年、收買契約締結ニ基キ實施ス)

2.

和林縣

包頭市外側地区タル

西腦包、三村 其他

3.

托克托縣

(黑城附近)

4.

宣化省管内

(下花園、萬安、懷柔)

以上ノ地区ニ於テ大略春草四〇萬担、秋草二〇萬担計六〇萬担内外ノ收買ヲナス方針ナレ共諸般ノ事情ヨリシテ多少ノ減少ハ免レズ

二、生産ニ関スル計畫

製品甘草エキスノ要望ハ日ト共ニ高マリ日本ヲ始メトシ華北或ハ華中朝鮮ト其ノ需要ハ増クベキモノアリ、特ニ日本ニ於テハ今般物動品トシテノ取扱ヲ受ケ益々其ノ使命ノ重且大ナルヲ痛感スル次第ナリ、

茲ニ於テ既設々備ヲ更ニ拡張シ以テ生産能力ノ向上ヲ計ルベク本年度上半期中ニ其ノ拡張工事ヲ完成セントス、而シテ收買セル原料六〇萬担ニ依リ左記ノ如ク生産ニ邁進スル計畫ナリ、

1. 半製甘草エキス 約七二〇〇〇 冠 (一九三〇)
2. 固型甘草エキス 約一二〇〇〇 冠
3. 規格甘草エキス 約四八〇〇〇 冠 (二二八二〇 封度)

三 製造用工業藥品ニ関スル計畫

製品ノ生産ニ必要ナル硫酸及苛性ソーダハ物動計畫ニ依ル割當ヲ
 要望シマレ共前年度ニ於ケル実績ハ硫酸ハ皆無、苛性ソーダハ
 二六〇〇冠ナリ

然ルニ製品生産上硫酸ハ第一部門ニ於テ不可缺ノ副原料ニシテ
 硫酸無クバ全生産不能トナリ、公同ニトリテハ重大ナル問題ナレバ
 昭和十七年度(成紀七三三年度)ノ繰越ト、途支獲得セルモノニ依リ
 辛ジテ標業ヲ繼續シタル次第ナリ

依テ本年度ニ於テハ極力割當ヲ受クルコトヲ懇願スルモノナリ

1. 硫酸 エキス製造ニ於テ第一部門ニ不可缺ノ副原料ナリ
 半製エキス 一冠ニハ 約 〇、三冠
 固型エキス 一冠ニハ 約 〇、九五冠
 規格エキス 一冠ニハ 約 〇、九冠

依テ本年度生産計畫ニ基ク必要數量ハ

- 半製エキス 七三〇〇冠ニ對シ 約 二一六〇〇 冠
- 固型エキス 一三〇〇〇冠ニ對シ 約 一一四〇〇 冠
- 規格エキス 四八〇〇〇冠ニ對シ 約 四三三〇 冠

2. 苛性ソーダ

半製エキスヲ除クエキス製造ニ於テ第二部門ニ又不可
 缺ノ副原料ナリ

- 固型エキス 一冠ニハ 約 〇、四一六 冠
 - 規格エキス 一冠ニハ 約 〇、〇四六 冠
- 依テ本年度生産計畫ニ基ク必要數量ハ
- 固型エキス 一三〇〇〇冠ニ對シ 約 四九九二 冠
 - 規格エキス 四八〇〇〇冠ニ對シ 約 二二〇八 冠
- 計 七、三〇〇 冠ヲ必要トスルモノナリ

四 容器包装材料ニ関スル計畫

製品容器トシテ素材ノ入手困難ニツキ、五ガロン空缶三七〇〇缶ノ配給ヲ
 受ケタリ

本年度ニ於テハ前年度ト同様ノ配給ヲ要望スル次第ナリ

半製エキス用(一五四。社入) 一八〇。缶
 固型エキス用(一五五。社入) 七一〇。缶
 規格エキス用(一五ニ。社入) 二一八。缶

計

四六九。缶

尚前年度繰越約八〇。缶中約五〇。缶ハ腐蝕甚ダシク缶洩レヲ生ジ
 使用上ノ不良缶トシテ固型エキス用ノミナラデハ使用不可能ナレバ本
 年度ニ於テハ要望数量ノ全数ヲ割當要望スルモノナリ
 包装材ハ前年度第四四半期ニ至リ政府御當局ノ御援助ニ依リ現木
 九五〇。オヲ華北ヨリ導入シタリ
 第三四半期以前ニ於テハ遂々現地ニ於テ獲得シタルモ遂ニ入手困難
 トナリ右現木ノ導入ニ及ビタルモノナリ
 依テ本年度ニ於テハ出来得ル限り包装板割材トシテノ割當ヲ要望至ス
 レド止ムヲ得ザレバ現木ニテ割當ヲ得ルモ差支ナキモノナリ
 必要数量ハ

半製エキス用(一箱四〇。社二五入) 約九〇〇。箱
 固型エキス用(一箱三〇。社) 約四〇〇。箱
 規格エキス用(一箱二〇。社) 約一〇〇。箱

計

一四〇〇。箱

一箱七。オトシテ約二〇〇。石ノ板割材ヲ必要トスレ共
 現木ノ場合ハ二〇〇。石ノ板割材ヲ取得出来得ル数量
 ヲ必要トスルモノナリ

五 鋼材(加工)

包装用木箱作製ニ要スル丸釘(二吋)及帯鋼ハ物動計畫ニ基キ割
 當ヲ受クルモノトス

前年度ニ於ケル実績ハ丸釘一八〇。社ニシテ帯鋼ノ割當ハ皆無ナリ
 帯鋼ハ梱包ニハ荷造ノ完全性ヨリ缺クベカラザルモノニシテ對日輸出品
 ニ於テハ殊ニ必要ナレバ中古品ヲ遂々獲得使用シタル現況ナリ
 依テ本年度ニ於テハ極力物動計畫ニ基ク割當ヲ要望スルモノナリ
 1. 丸釘 一箱ニ對シテ〇。二〇。社 二四〇〇。箱分 二八八。社
 2. 帯鋼 一箱ニ對シテ〇。八〇。社 同 二一ニ。社

六 油脂類

前年度ニ於テハシリンダー油 マシン油 グリースノ割當ハ各四半期共
 必要数ノ割當アリ本年度ニ於テモ引継キ之ガ割當ヲ要望スルモノ
 ナリ

必要数量ハ	シリンドー油	六二缶	一一一六立
	マリン油	六一缶	一〇九八立
	グリース		一一八四疋

七、工場設備及附属設備ニ関スル計畫

第二期工場拡張建設ノタメ前年度ニ於テ豫算七萬五千円ヲ計ニ工場ノ建築ニ着手大略竣工ヲ見タリ。前回許可ヲ受ケタル機械類ノ残余ハ前年度第三四半期ニモリ日本ヨリ導入目下省次据置ニ着手シ本年度上半期ニハソノ完以ヲ見ルコトナレリ。尚一部ノ残余ハアルモ更ニ整備セントス。依テ工場設備トシテハ本年度ニ大略完成シタルヲ以テ更ニ豫算四萬円ヲ計ニ工場倉庫ノ建築ヲ起スル計畫ナリ。従業員ノ住宅問題ハ住宅滞底ノ折柄操業當初ヨリ計畫中ナレ共資材其他ノ關係上其ノ實現ヲ見ザリシタメ現在工場ノ一部ヲ開放シ單獨身者ノ宿舍ニ充當シタル現況ナリ。然レ共従業員ノ家族呼寄、婚姻等ニ依リ必然的ニ重要視サレタルタメ本年度ニ於テ豫算七萬五千円ヲ以テ建築ヲ計畫セリ。

八、製品販賣ニ関スル計畫

半製エキスハ計畫生産量約七二〇〇。尙テ對日輸出品トナシ華北生藥協會ニ由輸出スルモノトス。固型エキスハ計畫生産量約一三〇〇。尙中華北華中向約六〇〇。尙殘ハ朝鮮又ハ疆内ニ於テ販賣スルモノトス。規格エキスハ計畫生産量約四八〇〇。尙テ疆内消費ニ充當ス。尚必要ニ應ジ規格品ヲ四倍ノ濃縮品トナシ販賣スルコトアルベシ。

以上